

〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 。

水環境ニューズレター by RECWET 第28号 2024.12.25(水)

。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇

今回は RECWET 協力教員、ニューズレター購読の先生方の情報も含むフルバージョンでお送りいたします。ご協力誠にありがとうございました。

水環境工学研究センター (RECWET) の活動

番号：1 水質制御技術・素材部門、2 水システム管理部門、3 国際水環境部門、4 国際下水疫学講座

【第14回 東南アジア水環境国際シンポジウム SEAWE-14】 12月3～5日
マレーシア、日本、タイ、インド、インドネシアの他、台湾、中国、バングラデシュ、ネパール、フィリピン、スリランカなど13か国・地域から150名にご参加いただき、3日間の会議を成功裏に終えることができました。日本からも34名（うち本学19名）の参加がありました。皆様方のお力添えを心より感謝申し上げます。 https://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/asian_water2024/



【令和6年度 第1回運営委員会】 11月19日

今年度より、農学生命科学研究科からは高木強治教授にかわり乃田啓吾准教授が運営委員を引き受けてくださっています。センターより決算・予算、SEAWE-14準備状況、信州大学アクア・リジェネレーション機構との連携、3部門・1講座の活動状況、次期センター長選考予定などを報告し、運営委員の先生方より質疑・承認いただきました。

【中国・温州大学 生命・環境科学学院との MoU】 10月25日

本研究連携を主に推進している片山浩之教授¹が同大学を訪問し、学長らと意見交換を行いました。本研究交流の了解覚書は近々5年間の有効期間が満了するため、更新を予定しています。



【RECWET 特別セミナー実施報告】

- **第64回**：環境水中の薬剤耐性腸内細菌科細菌のゲノム解析を研究テーマとする、京都大学の五味良太助教による講義（片山浩之教授¹・北島正章特任教授⁴、12月12日）
 - **第63回**：薬剤耐性遺伝子など微生物ゲノム分析による環境微生物解析の分野で世界的に有名な、香港大学の Tong Zhang 教授による講義（栗栖太教授²、12月9日）
- ()はコーディネーターおよび実施日

RECWET メンバーの活動

番号：1 水質制御技術・素材部門、2 水システム管理部門、3 国際水環境部門、4 国際下水疫学講座

【北島正章特任教授⁴】

- クラリベイト社の2024年 [Highly Cited Researchers](#) に選出（11/26）

- 下水からの A 型インフルエンザウイルス推定に関する論文 (Environ. Int., 12/23)、下水中の低濃度ウイルス検出法開発に関する審査付論文(PDF) (土木学会論文集, 11/26)、ベトナム地表水における SARS-CoV-2 に関する論文 (Sci. Total Environ.誌, 11/19)、構造的トピックモデルで下水疫学研究を解析した論文 (Results in Chemistry 誌, 11/14) をそれぞれ発行
- 感染症対策の最新技術動向 (CiDER-PDP, 12/2)、新型コロナウイルスの感染動向把握 (モダンメディア(PDF), 11/5) 発行
- 日本環境変異原ゲノム学会第 53 回大会 (岡山, 12/7)、韓国上下水道に関する会議 (10/30) で招待講演
- 下水サーベイランス未来予想図が月刊下水道 1 月号掲載、取材協力記事が読売新聞 (11/28) 掲載、IWA HRWM group の Newsletter に寄稿 (11/20)

【田島芳満教授²】

JST 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)の防災分野でガーナ共和国との共同研究が採択、2025 年 4 月研究開始

【栗栖太教授²】

- 微生物科学イノベーション連携機構(CRIIM)参画教員として、微生物科学イノベーション特論 IIで水中の微生物増殖に関して講義 (12 月 18 日)
- JST 日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業(NEXUS)「水の安全保障」分野で、フィリピン大学ロスバニョス校との共同研究課題(PDF)が採択 (11 月 15 日)

【滝沢智教授³】

- 同教授が座長を務める国交省「上下水道政策の基本的なあり方検討会」の会議がテレ朝 news、環境新聞などで報道 (11 月 29 日、12 月 11 日)
- 第 61 回環境工学研究フォーラムの企画セッション(PDF)にて、「水インフラ更新小委員会」小委員長として講演・パネルディスカッション登壇 (新潟, 11 月 27 日)
- 36th Conference of International Society for Fluoride Research (ISFR)に ISFR 理事とし参加・発表(New Delhi, 11 月 12-14 日)
- 水道耐震化で共同通信社に取材協力した記事が京都新聞などほぼ全ての地方各誌に掲載 (11 月 2 日)

【春日郁朗特任准教授⁴】

- ベトナム 3 都市の下水中における微生物群集と薬剤耐性遺伝子に関する論文が JWET 誌より発行(Vu, Kurisu, Kasuga et al, 12 月 10 日)
- VANJ CONFERENCE 2024 の特別セッション 5 (AI 主導で都市水道の公衆衛生を保護) で招待講演 (東大/online, 12 月 7 日)

【片山浩之教授¹】

- 日本医療研究開発機構(AMED)が HP 連載の読み物 重点感染症シリーズ No.9(PDF)で、「水中からエンテロウイルスを検出」したとして同教授の研究を紹介 (12 月 10 日)
- Liu Miaomiao 特任助教⁴とともに中国生態学会微生物生態専門委員会 2024 年学術年次総会および山東大学環境理工学部の学術討議に参加。片山教授は基調講演、招待講演を実施 (青島, 10 月 25-28 日)

【珠坪一晃教授³⁾】

- マラヤ大学との DHS における硝化反応への飢餓状態の影響評価に関する共同研究で、J. Clean. Prod. 誌より論文発行 ([Loi, Syutsubo, Chua et al](#), 11月25日)
- バイオガス脱硫を利用した硫酸塩含有廃水のメタン発酵処理に関する研究成果について、Water Sci. Technol. 誌より論文発行 ([Onodera, Syutsubo et al.](#), 11月22日)
- タイに出張し、コンケン大学では天然ゴム製造廃水処理の現状、国立遺伝子生命工学研究センターでは資源回収型処理技術の産業排水処理分野への導入、カセサート大学では分散型生活排水処理技術の運用方法などを討議 (11月19-21日)

【橋本崇史准教授¹⁾】

同准教授がDX技術の活用に関する研究委員会副委員長に就任した、水道技術研究センター産官学浄水共同研究プロジェクトA-NEWWORKの発足式が、[日本水道新聞](#)に掲載 (10月31日)

【加藤隆史教授¹⁾】

同教授が実行委員会委員長を務めた[第14回CSJ化学フェスタ2024](#)について日本化学会が[報告記事公開](#) (10月22日)



学内関連講座の活動

【[下水道システムイノベーション研究室](#)】リンク先はいずれもPDF

- [加藤裕之](#)特任准教授へのインタビュー記事が[Marketing Horizon](#)11・12月号 (Bistro 下水道等)、[水道公論](#)11月号 (官民連携等) にそれぞれ掲載
- 同教授がPPP等[フランス視察報告](#)を寄稿 (11月1日)
- 同研究室が飼育実験中の高度処理水を活用したアユについて、食味試験が行われその感想が[東京都下水道局局報](#)に掲載 (9月12日)

イベント・講演のピックアップ! ヘッドライン

【[環境安全研究センターシンポジウム](#) [飛野智宏](#)准教授 (都市/協力教員)】2月19日 第33回は「人と環境の未来を拓くバイオテクノロジーと安全教育」をテーマにハイブリッド開催。同准教授は「環境微生物群集が支える都市下水の持続可能な循環」を講演予定



【[文京区科学教育事業](#) [下園武範](#)教授 (社会基盤)】2月1日 大学等と連携し小中学生が最新の研究成果や学術研究に触れることのできる教室「子ども科学カレッジ」にて、地球規模の環境問題「[海岸浸食](#)」を[講演予定](#)(PDF)

【[球磨川流域での森づくりを考える勉強会](#)ほか [蔵治光一郎](#)教授 (演習林)】 林の荒廃対策が急がれる流域地域で上映会・多数の質疑応答・森林再生現場視察を実施(10/13)。他にも[多摩川・矢作川流域セミナー](#)(PDF, 11/30)、[治水・環境と総合水管理講座](#)(12/17)、[森と木のシンポジウム](#)(PDF, 1/25)など講演多数

【食と生きるシンポジウム 北澤大輔教授（生産研）】 1月16日

農林水産省後援シンポジウム全14講演の1つ「生産の未来②～サステナブル水産業～」に登壇予定。
企業・学識者による温暖化と水産資源減少に関する解説と課題超克

【柏キャンパスでイベント 芳村圭教授（生産研）】

- 太平洋島嶼国からの訪問者をグローバル水文研究センターが見学案内。当センター運用の全球水循環予測システム利用のきっかけに(12/18)
- 「顕在化する社会課題の解決」領域の本格研究代表者として、シンポジウム洪水を災害にさせない社会の実現に向けて開催(10/25)

【今、豪雨が来たら？〇〇〇ついでに流域治水 吉田貢士教授（新領域）】 12月1日

流域ぷらっとフォームが富山市で市民向けイベント主催。同教授ら科学者が富山住みます芸人とパネルディスカッション他。詳細告知・報告

【国際水産シンポジウム 2024 八木信行教授（農学生命）】 11月19-22日

ASEAN 漁業教育ネットワークの年次会議 IFS2024 で同教授が全体会議における基調講演を行い、その内容が日刊水産経済新聞に掲載

【Korea International Water Week 2024 川崎昭如教授（未来ビジョン）】 11月13-16日

川崎グループのメンバーが参加し、会議の議題、基調講演のポイント、発表セッションでの討議内容、アジア諸国の高校生によるフォーラム、企業展示会について詳細レポート

【千年にのみや地球会議 吉田丈人教授（農学生命）】 11月2日-3月29日

自然のしくみから環境防災を学ぶ、二宮町のシンポジウムとワークショップシリーズ。キックオフ講演会として同教授が防災・減災のためのグリーンインフラについて講演

【次代の農と食をつくる会トークライブ 福永真弓准教授（新領域）】 10月23日、11月6日

オンライントークライブに「基礎から知る、環境倫理学とは何か」「環境倫理学から見る 農と食のこれから」と題して2回ゲスト出演

【カーボンニュートラル×まちづくり 村山顕人教授（都市）】 10月21日

脱炭素先行都市の取り組みを元にディスカッションが行われたトークイベントで、堺市・宇都宮市とも土地利用・交通・水と緑・エネルギーシステムといったインフラが融合されている等とコメント

【ふくしま再生の会報告会 溝口勝教授（農学生命）】 10月20日

「13年の活動を踏まえ、今見えてきたこと」YouTube, 講演資料(PDF), 要約(PDF)

【木津用水まつり 乃田啓吾准教授（農学生命）】 10月19-20日

同准教授が研究代表の水循環環境プロジェクト VESPa が市民まつりに身近な水路を楽しく学べるブース出展。写真報告

書籍のピックアップ！ヘッドライン

【[地下水の事典](#) 徳永朋祥教授（新領域）】10月1日刊行
「第I編 概論」編集委員、「第3章 資源としての地下水」執筆担当

【[小規模な水供給システム](#) 小熊久美子教授（都市/協力教員）他】8月30日発行
[Yahoo ニュース](#)「地域に根差した持続可能な水道の未来」が本書紹介（11月28日）

その他ピックアップ！ ニュースヘッドライン

【[国際会議で新セッション担当](#) 山崎大准教授（生産研/協力教員）】2025年7月
2025年夏開催の第22回アジア・オセアニア地球科学学会([AOGS](#))では、Hydrological (HS)の新セッション「[Large River Modeling](#)」(HS09)をホスト予定

【[ネオニコ報道－若い世代に見てほしい](#) 山室真澄教授（新領域）】12月15日
同教授推薦の[TBS 報道特集](#)：漁獲高・トンボ生息数の激減、ミツバチ大量失踪、マウス実験、人体での蓄積、発達障害有病率、EU/農水省の対応、トキを守る佐渡農家など、ネオニコチノイド系農薬の影響と対応を報道

【[地下水位を遠隔監視](#) 佐藤弘泰教授（新領域/協力教員）】10月22日
下水モニタリングの準備として、複数地点の地下・地表水位を測定、集約、データサーバーにアップするプロジェクトを実施中

【[NHK World](#)で放映 沖大幹教授（総長特別参与）】10月21日
これまでの研究が15分間の映像にまとめられているそうです。Shedding Light on the Global Water Cycle: Oki Taikan

【[BS 朝日 地球クライシス](#)に出演 佐々木淳教授（新領域）】9月29日
世界の気候変動に迫る人気シリーズの第10弾「激変する海！地球温暖化の影響と再生へのヒント」にゲスト出演

【[2050年未来会議に登壇](#) 風間しのぶ准教授（新領域/協力教員）】9月17日
経済ニュースプラットフォーム NewsPicks で行われた、同准教授らによる対談「水道が使える「当たり前」は続くのか？」[解説・動画](#)

最後に

最後までご覧いただき誠にありがとうございました。

水環境等に関するイベントや、プロジェクトをご紹介ください。また、本ニュースレターにて学内研究者・関係者にお知らせしたい情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

次回の配信は2025年2月を予定しております。「水」のセンターなので、配信日は水曜日です！

▼当ニュースレターのバックナンバー

<https://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/details/newsletter.html>

工学系研究科 附属水環境工学研究センター (RECWET)

連絡先：古正裕紀 sec-recwet@env.t.u-tokyo.ac.jp

新規ご購入・配信停止はメールにて承ります。